

2023 年度事業報告

一社)佐賀県公認心理師協会の概要

■ 2023 年度の特筆事業

2023 年度は、第 3 期新体制の 1 年目であった。2023 年度もこれまでに引き続いて会員の資質向上に努めるとともに、県内外のさまざまな関係機関と連携協働を着実に進め、地域社会への一層の定着を目指した。3 年ぶりのポストコロナの日常を迎え、行動制限がほぼ解除された日常生活の中で、オンラインにとどまらない“face to face”の活動を展開した。その中でも特筆すべき事業内容について、以下に列挙する。

- ① 九州臨床心理学会第 51 回大会が、前回開催の 2014 年度以来 8 年ぶりとなる佐賀開催となることから、前回と同様に九州臨床心理学会佐賀地区からの業務委託契約を受けて準備委員会を設立し、多くの会員の協力を得て大会の企画、運営を担当した。2024 年 2 月 2 日（金）～4 日（日）に、メインテーマとして「次の 50 年に向けて原点回帰」を掲げ、数年ぶりの三日間の開催とした。参加人数は 200 名余りと盛況のうちに終えることができた。
- ② 佐賀県が 2024 年度に開催予定としている「SAGA2024（国スポ、全障スポ）」に関連し、当協会が 2022 年度から取り組んでいるスポーツ領域での心理支援・心理ケアの可能性を啓発する目的の事業として、前述の九州臨床心理学会佐賀大会において自主シンポジウム「臨床事例を通じたスポーツ臨床」を開催した。
- ③ 研修会とは別に、会員が日常的に個人スーパーヴィジョンやグループスーパーヴィジョンを利用できるよう、登録制のスーパーヴァイザーを組織的に養成する体制の構築を目的として、「心理臨床におけるより効果的なスーパーヴィジョン（基礎編）」を開催した。さらに前述の九州臨床心理学会佐賀大会において、ワークショップ「スーパービジョンを学ぶ」を開催した。これは、先行する「心理臨床における・・・」を受けての第 2 課程と位置付けていたが、事前のアナウンスが十分でなかったため 2024 年度に改めて開催する予定である。
- ④ 2024 年 1 月 1 日に発災した石川県能登半島地震に関連して、被災地学校への緊急支援の要請がなされる可能性があることを踏まえ、学校臨床委員会を中心に派遣登録希望者を会員から募った。また、事前研修として、オンデマンド研修 2 本を災害支援委員会から希望者に配信した。
- ⑤ 他領域から公認心理師資格を取得した会員を対象にした情報交換会については、準備ができず実施に至らなかった。
- ⑥ 佐賀県（こども家庭課）が公募した「子どもの意見表明支援事業」のプロポーザル委託については、応募したが当協会の案は採択されなかった。なお、この事業を進めるために条件となる意見表明支援員の養成講座受講のお願いを会員に向けて案内したところ、多くの会員から受講希望をいただいたことに感謝申し上げたい。

■ 社会の要請への対応

前年に引き続き会員の協力を得て、地域社会の要請に対応した。

- ① ばぶばぶフェスタ（佐賀新聞社主催、佐賀県共催 11/5 日曜 アバンセ）に出展し、会場に参加した子育て中の親子の自由遊びや、子育て相談に対応した。
- ② 学校での事故、事件への緊急支援活動について協力した（全9件、小学校4件、中学校4件、高等学校1件）。
- ③ 被害者支援委員会（佐賀県DV総合対策センター）、産業組織委員会（県自殺対策協議会、県弁護士会：暮らしとこころの相談会）等の様々な関係機関との連携や協力に取り組んだ。

■ 会員の資質向上-研修事業

- ① 当協会の研修会の体制は、**基礎研修会**（入会3年目までは必修、希望者は4年目以降も参加可能）、**委員会主催研修会**（年間通しの低額の有料研修会とし、登録制による事例検討会と情報交換会を、年間を通して3回程度実施し会員相互の研鑽とサポートシステムの構築に努める）、③**専門研修会**の3種類から構成されている。
- ② 今年度の委員会主催研修会は、スクールカウンセラー（SC）研修会4回と、児童福祉委員会主催研修会3回である。
各研修会については下記の通りである。

日時	研修会名	テーマ等	参加者数
4月9日（日）	倫理研修会 2022年度分 （西九州大学）	「ハラスメントの基礎知識と対応」 講師：島田乃梨子（九州大学ハラスメント対策推進室）	26人
5月14日（日） 5時間	基礎研修会（オンライン研修）	会長はじめ各委員会委員長から佐心協の活動と県内の状況について	役員以外 11人
8月6日（日） 午後3時間	心理臨床における効果的なスーパーヴィジョン研修会 （佐賀市立春日公民館）	「心理臨床におけるより効果的なスーパーヴィジョン」 講師：児島達美（KCPL代表）	16人
11月12日（日） 午前3時間	児童福祉委員会主催研修会 ①（オンライン研修）	事例検討、情報交換	7人
11月12日（日） 午前2.5時間	産業組織専門研修会 （アバンセ）	「産業臨床の歩き方」 講師：谷川芳江（カウンセリンググループ River）	11人
11月26日（日）	倫理研修会 （メートプラザ佐賀）	「相談記録の証拠としての法的意義」 講師：安永恵子弁護士	23人
1月14日（日） 午前3時間	児童福祉委員会主催研修会 ②（オンライン研修）	事例検討、情報交換	6人

2月18日(日) 5時間	被害者支援専門研修会 (メートプラザ佐賀)	「佐賀県における被害者の現状と具体的支援」講師：副島昂樹(佐賀県警本部)ほか	19人
3月17日(日) 午前3時間	児童福祉委員会主催研修会 ③(オンライン研修)	事例検討、情報交換	6人

回	日時	方式	テーマ等	参加者数
1	9月24日(日) 午前2.5時間 午後1時間	集合研修 会場：西九州大学	「緊急支援について -事例と共に-」 講師：児島達美(KCPL代表) 地区別SC交流会	41人
2	8月27日(日) 午前2.5時間	オンライン研修	「心理療法の個性的統合」 講師：倉光 修(放送大学)	41人
3	12月10日(日) 午前2.5時間	オンライン研修	「スマホ、ゲーム依存について」 講師：樋口 進(久里浜医療センター)	40人
4	3月10日(日) 午前2.5時間	オンライン研修	「WISC-Vについて」 講師：大六一志(元筑波大学)	43人

SC研修会

③ 会員が利用可能なスーパーヴィジョン体制構築事業

会員の当協会入会後の資質向上、研鑽に資するために、研修会参加とは別にスーパーヴィジョン(以下、SVであり形態は個人・グループを含む)を希望に応じて利用できる体制を構築する。2023年度に事業を開始し、2024年度で以下のように第1クールを完了する予定である。

	日程	テーマ	内容
第1段階	2023/8/6(日) 13:30~16:40	心理臨床におけるより効果的なスーパーヴィジョン(基礎編)	講義、グループ別討議、全体会
第2段階	2024/2/2(金) 13:00~16:00 九臨心佐賀大会ワークショップ もしくは、 2024/8/4(日) 10時~12時	スーパーヴィジョンを学ぶ // (理論編)	講義、グループ
第3段階	2024/8/4(日) 13時~16時	スーパーヴィジョンにおける探索過程の実践的体験	講義、演習

第4 段階	2024年度の後半から	活動中の登録スーパーヴァイザーによるSV事例検討会	グループ
----------	-------------	---------------------------	------

※今後登録スーパーヴァイザー養成に取り組む際には、1～3の内容を実施する。

■ その他報告

1 会員数の動向

2022年度末会員数	196名	
2023年度入会者	19名	年度内最大会員数215名
2023年度末会員数	206名	退会者5名、会員資格喪失者4名

2 年次総会及び理事会に関する事項

(1) 第5回(2023年度定時)年次総会

1. 日時：2023年6月11日(日)10:00～11:10
2. 方式：対面及びWebexによるオンラインのハイブリッド方式。審議事項に関して、対面参加者の採決方法は挙手にて、オンライン参加者の採決方法はオンライン投票システム(Googleフォーム)を用いて出席者に諮ることとし、事前の模擬練習を行い問題なく運用できることを確認した。
3. 出席役員数：理事12名、監事2名
4. 会員総数：207名
5. 出席会員数：157名(対面出席者26名、オンライン出席者15名、会長への委任状116名)
会長挨拶に続き、前回理事会において選出した細川副会長が議長として議事進行した。
6. 議案：

第1号議案 2022年度事業報告並びに同決算報告承認の件

事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ異議なく承認された。

第2号議案 理事全員任期満了につき選任の件

第2期理事の任期満了につき、第3期理事候補者として以下の11名を選出した旨が報告され、異議なく理事候補者全員が理事として承認された。

理事 赤川 力(重任)
同 伊藤 紀子(重任)
同 上田 美樹(新任)
同 岡嶋 一郎(重任)

同 サンボン賀弥子（新任）
同 高橋 幸市（重任）
同 徳永 剛志（重任）
同 細川 美幸（重任）
同 眞木 理（重任）
同 松島 淳（重任）
同 山口玲子（新任）

第3号議案 監事全員任期満了につき選任の件

任期満了に伴い、第3期監事については全員一致で異議なく賛成したので、下記の通り確定可決した。

監事 津留保生（税理士法人 SDC 会計、重任）
同 中島由紀子（佐賀県総合福祉センター、重任）

報告事項

2023 年度事業計画並びに同予算について、各委員長及び事務局から説明がなされた。

(2) 理事会

① 第3期第1回理事会

1. 日時：2023 年 6 月 11 日（日）12：00～13：00
2. 方式：対面開催
3. 出席理事：赤川力、伊藤紀子、上田美樹、岡嶋一郎、サンボン賀弥子、高橋幸市、徳永剛志、細川美幸、眞木理、松島淳、山口玲子
4. 出席監事：津留保生、中島由紀子
5. 議案：

第1号議案 代表理事並びに役員選出に関する件

本理事会に先立つ第5回2023年度年次総会において第3期役員が承認されたことに伴い、代表理事（会長）初めその他の役員を選出した。審議の結果、下記の通り役員を選出し、全会一致で承認された。

会長 徳永剛志
副会長 岡嶋一郎
副会長 細川美幸
常務理事 眞木理

第2号議案 任期満了に伴う監事選任の件

任期満了に伴い、第3期監事が下記の通り提案され、全会一致で承認された。

中島由紀子（佐賀県総合福祉センター、重任）

津留保生（税理士法人 SDC 会計、重任）

② 第3期第2回理事会

1. 日時：2024年3月7日（木）19：00～20：30
2. 方式：Webexによるオンライン開催。
3. 出席理事：赤川力、伊藤紀子、上田美樹、岡嶋一郎、サンボン賀弥子、高橋幸市、徳永剛志、細川美幸、眞木理、松島淳、山口玲子
4. 出席監事：中島由紀子
5. オブザーバー：白石忠明
6. 欠席監事：津留保生
7. 議案：

第1号議案 2023年度事業報告（経過）及び2024年度事業計画承認の件

事務局および各委員会より、2023年度事業報告（経過）及び2024年度事業計画の報告がなされた。本件については全会一致で承認された。

第2号議案 2024年度収支予算案承認の件

事務局より、2024年度収支予算案について提案された。後日、3月13日に、補正予算案をメール稟議にて理事・監事に諮った。審議の結果、本件については全会一致で承認された。

第3号議案 「報酬及び手当の支払いに関する規則」新設の件

事務局より、「報酬及び手当の支払いに関する規則」の新設について提議された。適用は2024年4月1日からとし、新たに会計担当の報酬を規定するほか、講師手当等について規定している。審議の結果、本件については全会一致で承認された。

また、協議事項として、1. 産業保健総合支援センターにおける専門スタッフの推薦の依頼について、提案がなされ協議の結果、当面産業組織委員長である徳永会長を推薦することとなった。2. 「会員が利用可能なスーパーヴィジョン体制構築事業」実施要領の策定についても、提案がなされ協議の結果、提案の実施要領に沿って進めることが確認された。

なお、報告事項として、事務局会計の人事案について、4月から白石忠明会員に委嘱し、2024年度は現在担当している高橋幸市理事からの円滑な業務の引き継ぎにあたることが確認された。

3 委員会活動報告

【医療保健委員会】

- ① 委員会2回開催（メール会議）

- ② 日本臨床心理士会医療領域委員会主催の全国担当者研修会は、2023年度は開催されず、2024/4/21（オンライン開催）へ参加予定。
- ③ 医療機関マップの改訂について検討し、調査票の作成を進めた。

【学校臨床委員会】

- ① 委員会は4回開催した。
- ② SC研修会を4回開催した。
- ③ 学校緊急支援は小学校4件、中学校4件、高等学校1件の計9件であった。
- ④ 県教育委員会学校教育課に訪問し諸課題について協議した。
- ⑤ 学校臨床 担当理事・コーディネーター全国会議へ出席した。
- ⑥ スクールカウンセラーメンター制度の利用者は4件であった。
- ⑦ 2024/1/1に発災した石川県能登半島地震に関連して、学校緊急支援チームの派遣要請があった場合に備えて派遣希望者のリストを作成した。

【児童福祉委員会】

- ① 委員会はメールによる連絡と、研修会開催時にオンラインで開催した。
- ② 委員会主催研修会を3回（第1回11/12午前3時間、第2回は1/4午前、第3回3/17午前）開催した。
- ③ 子育て支援イベント「ばぶばぶフェスタ」が、11/5（日）にアバンセで開催され、例年通り会員の協力を得て親子遊びのブースを出展した。
- ④ 日本臨床心理士会児童福祉委員会が主催する全国都道府県担当者研修会は8月に開催されたが、都合がつかず欠席した。

【被害者支援委員会】

- ① 緊急支援事業は、2023年度は依頼がなかった。
- ② 被害者支援事業は、4件（佐賀県DV総合対策支援センターへの協力）。
- ③ 被害者支援専門研修会を、2024/2/8（日）にメートプラザ佐賀で開催した。
- ④ 性暴力被害者支援事業調整会（佐賀県DV対策支援センター：アバンセ）が、7/28に開催され、参加した。
- ⑤ 「DV・性被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」研修会が7/23～24にオンライン開催され、委員長・委員が参加受講した。
- ⑥ 佐賀県警察本部のカウンセリング等研究会は、2/2（木）に開催され参加した。
- ⑦ 日本臨床心理士会被害者支援委員会の主催する全国都道府県担当者研修会が、2024/3/16にオンラインで開催され参加した。

【産業組織委員会】

- ① 委員会は随時メール連絡で行った。
- ② 産業組織専門研修会を、11/12（日）に西九州大学で開催した。
- ③ 日本臨床心理士会産業労働委員会が主催する全国都道府県担当者研修会が、10/1（日）にオンラインで開催されたので参加した。
- ④ 佐賀県自殺対策協議会が、8/30（水）に、グランデはがくれで開催され参加した。
- ⑤ 例年開催されている「暮らしとこころの相談会」（佐賀県弁護士会）は、9/15と3/6に開催されたので両日とも心理相談を設置し協力した。

【事業広報委員会】

- ① 2024年度開催の「SAGA2024（国スポ、全障スポ）」に協賛し、スポーツ領域での心理支援・心理ケアの可能性を啓発する目的で、九臨心第51回佐賀大会において自主シンポジウム「臨床事例を通じたスポーツ臨床」を開催した。
- ② 会員の健康管理に資する目的での会員向け福利厚生事業「メンテナンスコース事業」の実施を検討したが、広報周知や手続き等の整理に時間を要したため2024年度の実施を目指す。
- ③ 会員向けニューズレター「ほっこり通信 2023年度号」を3月に発行した。

【災害支援委員会】

- ① 研修会の開催については、他委員会主催の研修会日程との調整や会員のニーズ把握ができていないことから、県内で開催される外部の研修を推奨周知した。
2024/1/12 「災害時のメンタルヘルス」（講師：佐賀県精神保健福祉センター所長 宮下聡）
- ② 災害支援時の活動要領について、佐賀県公認心理士協会の動き（組織体制・連絡体制・心理師の役割・後方支援に関すること等）を、応援・受援、県内活動及び県外活動を視野に入れて作成に着手した。日本臨床心理士会のガイドラインを参考に作成し、運営委員会に諮る予定である。
- ③ 日本臨床心理士会、日本公認心理師協会共催の全国担当者会議へ、2023/9/18に出席した（オンライン）。
- ④ 九州沖縄ブロック担当者研修会が、2024/1/21, 22に大分市で開催され参加した（代理：徳永会長）。おりしも発災した能登半島地震への応援派遣についての意見交換のほか、各県の活動状況などを共有した。
- ⑤ 能登半島地震の後方支援活動
学校臨床委員会や事務局と連携し、研修動画を2本作製し、希望者に配信した。
今後も動員の状況を鑑み、事務局や担当委員会と連携して支援体制の構築や情報発信に努める。

【倫理委員会】

- ① 委員会運営についてはメールで連絡を取り合った。
- ② 倫理違反に関する申し立てはなかった。
- ③ 倫理研修会について、2022年度事業分を2023/4/9（土）に西九州大学で、本年度分を2023/11/26に「相談記録の証拠としての法的意義」をテーマとしてメートプラザ佐賀で開催した。
- ④ 日本臨床心理士会倫理委員会が開催する全国都道府県倫理担当者研修会は開催されていない。